

平成20年度（通算第9回） 長崎自然共生フォーラム通常総会

日時：平成20年6月28日（土）

場所：総合福祉センター（ハートパル）

開会挨拶 会長 宮原和明氏（長崎総合科学大学工学部教授）

議長選出

議 事

1. 会員状況報告について
2. 平成19年度事業報告について
3. 平成19年度決算報告について
4. 平成19年度監査報告について
5. 平成20年度事業計画（案）について
6. 平成20年度予算（案）について
7. その他

プログラム

- 14:00 受 付
- 14:30 幹事会
- 15:00 総 会
- 16:00 基調講演（90分・質疑応答含む・一般開放）
「野生鳥獣との共生について最近の動向
～イノシシと人とは共生できるか」
小寺祐二氏（長崎県専門員：農政課所属）
- 18:00 交流会（会費3,000円）
- 19:30 閉 会

閉会挨拶 副会長 山本規仁氏（長崎県造園建設業協会会長）

以上

第 1 号議案

会員状況報告について

平成 20 年 4 月 1 日現在

正 会 員 6 1 名	会員未納会員 1 年分 6 名 会員未納会員 2 年分 20 名
----------------	-------------------------------------

第2号議案

平成19年度事業報告について

○ 総 会

平成19年6月23日(土)17:00から、「とりかぶと生活科学研究所」(大村市)において、会員66名のうち出席者34名(うち委任状19名)の過半数を得て開催した。開催に先立ち、市民としてのパートナーシップによって本フォーラムの活性化を図りたい旨、会長から挨拶があった。また菅委員紹介の中瀬昭隆氏(大村市議会議員)がオブザーバーとして同席された。

第1号から第9号議案までの議案は、すべて承認・了承された。とくに第7号議案では副会長に牛場雅己氏(長崎県自然環境課長)、運営委員に富永和博氏前副会長)の推薦があった。また幹事に岩永敏行・中島秀人・福田和則・姫野順一・松尾公則・松本公明の各氏を任じた旨、報告があった。

また研究会(18年度)としての位置づけた「日・中・韓国国際造園シンポジウム」(長崎市)のお礼があった(担当:久保田・川里)。

○ 運営委員会・幹事会

第1回を5月12日(土)16:00から、県福社会館2階会議室(長崎市)において出席者8名で開催し、総会日程等を決めた(久保田・川里・鈴木・富永・為永・宮原・山本・山科 五十音順)。第2回を総会先立って開き、18年度の退会会員は8名で、会員74名が66名に減ったとの報告の後、総会の審議内容のうち決算・予算、役員改選などについて討議した(川里・菅・小島・鈴木・宮原・山本・五十音順)。

○ 講演会

17:30から、長崎県環境部自然環境課長 牛場雅己氏による「長崎県の環境行政について」との演題で、パワーポイントによるカラフルで、わかり易い講演をいただいた。とくにイノシシについては、活発な質疑応答があり、時間切れで討議は交流会に委ね、引き続き(株)エコシステムの菅社長から、「とりかぶと自然学校」の紹介を受けた。

○ 交流会

19:00から、会場のドーム内で山本副会長の乾杯で始まり、オブザーバーの中瀬議員を入れて12名の参加者があった、事務サポートの牧さん夫妻とエコシステム社員の山口さん・社員内定者の総科大生(窪田君)それ

に管理人の森さん・三原さんも加わって、講師・オブザーバーを囲んで、にぎやかに楽しく談笑した。途中、幸運にもホテルの群舞も見ることが出来、宴に興を添えた。21：30 頃、帰参組の迎えタクシーが来たので中締めとし、泊り組は 2007 年カンヌ映画祭受賞作品「モリノ森」を DVD で観賞した。その後も泊り組の談話は弾み、「新農の家」でダウンした時は、03:00 を回っていた。翌早朝、霧の中をゆっくりと辞去した。(参加者 牛場、川里、菅、来崎、為永、富永、中瀬、中村、早瀬、松尾、宮原、山本) (五十音順)

○ 研究会

7月17日(火) 17：30 から、長崎大学大学院研究棟で、環境省環境省総合環境政策局 土井健太郎 氏による講話を聞いた：「環境行政の焦点とくに環境アセスメントについて」(担当：早瀬委員)。

第 3 号議案

平成 1 9 年度決算報告について

平成 19 年度収支決算を下記のとおり、報告します。

収入決算額 9 6 , 0 4 7 円

支出決算額 6 5 , 3 3 1 円

差引繰越額 3 0 , 7 1 6 円

平成 20 年 6 月 25 日

長崎自然共生フォーラム
会長 宮原 和明



平成 1 9 年度収支決算書

自 平成 19 年 4 月 1 日
至 平成 20 年 3 月 31 日

1) 収入の部					
科 目		予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	備 考
会費収入					
	通常会費	80,000	96,000	16,000	48 人×2,000 円
出版収入					
	書籍販売	0	0	0	
寄付金					
	寄付金	0	0	0	
雑収入					
	雑収入	0	47	47	銀行預金利息
当期収入合計(A)		80,000	96,047	16,047	
前期繰越金		142,465	142,465	0	
収入合計(B)		222,465	238,512	16,047	

2) 支出の部					
科 目		予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	適 用
報償費					
	謝金	9,000	15,000	6,000	講師謝礼
需用費					
	消耗品	10,000	6,610	△3,390	封筒代
役務費					
	通信運搬費	25,000	22,630	△2,370	資料郵送
	支払料金	0	2,990	2,990	各種手数料
	その他	12,000	12,000	0	事務補助
会議費					
	借上料	15,000	4,791	△10,209	幹事会会場 研究会会場
	その他	0	1,310	1,310	会議関連費
予備費					
	予備費	151,465	0	△151,465	
当期支出合計(C)		222,465	65,331	△157,134	
当期支出差額(A-C)			30,716		
次期繰越収支差額(B-C)			173,181		

財 産 目 録

平成 20 年 3 月 31 日現在

科 目	金 額	
1. 資産の部		
現金	84,934 円	
普通預金		
親和銀行諫早支店 1621302	22,237 円	
郵便局	66,010 円	
資産合計		173,181 円
2. 負債の部		
負 債	0 円	
預り金	0 円	
負債合計		0 円
正 味 財 産 合 計		173,181 円

収入内訳

費 目	件数	単価	金額	摘 要
会費収入	48	2,000	96,000	
預金利息	4		47	親和銀行
収入合計			96,047	

支出内訳

日付	金 額	出 金 先	摘 要
19.05.12	4,120	長崎県勤労福祉会館	幹事会会場費
	1,310	LOWSON	幹事会お茶代
06.06	940	郵便局	総会関係資料郵送費
10	2,350	郵便局	総会出欠確認用ハガキ代
	3,760	郵便局	総会案内郵送費
23	5,000	川里氏	総会・講師謝礼（牛島課長）
07.04	3,520	郵便局	H19 第 1 回研究会案内郵送費
11	671	長崎大学	研究会室料（前納制）
13	1,260	石丸文行堂	封筒代
15	7,700	郵便局	総会報告郵送費
17	12,000	牧氏	事務補助代
	10,000	川里氏	研究会・講師謝礼（土井氏）
12.20	700	郵便局	事務連絡用
20.01.14	3,000	牧氏	ニューズレター5 号・印刷代
16	6,010	郵便局	ニューズレター5 号・郵送費
03.31	2,880	郵便局	会費振込手数料（年度合算）
	110	郵便局	郵便口座払出手数料 （年度合算）
合計	65,331		

第4号議案

平成19年度監査報告について

平成20年5月26日（月）および6月9日（月）、長崎大学
カフェテリアにおいて、平成19年度収支決算について監査を
実施した結果、すべて適正に処理されていることを認めました。

平成20年6月9日

監事 鈴木 馨 印



監事 早瀬 隆司 印



第 5 号議案

平成 2 0 年度事業計画（案）について

1. 第 9 回総会を開催する。
2. 研究会を年 3 回、開催する（研究会と総会・幹事会とを連動させる）
3. 会員相互の情報交換・発表の場として E - mail を活用し、併せて会報・ニュースレターを発行し、活性化を図る。
4. 見学会・研修旅行を企画する。

月	予定スケジュール
4 月	総会（第 9 回定期総会 於：大村） ホタルの会・全国シンポジウム（参加自由） 研究会（7 / 1 アセスメント関係：担当 早瀬）
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	
9 月	NL : no.6 発行 大村湾を美しくする会事業（参加自由） 研究会（未定）
1 0 月	
1 1 月	
1 2 月	
1 月	
2 月	研究会（未定）
3 月	NL : no.7 発行

第 6 号議案

平成 2 0 年度予算（案）について

収 入

科 目	20 年度	前年度予算	備 考
繰 越 金	173,181	142,465	
会 費 収 入	80,000	80,000	40×2,000
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	0	0	
	253,181	222,465	

支 出

科 目	20 年度	前年度予算	備 考
報 償 費			
謝 金	20,000	9,000	10,000×2 回
需 要 費			
消 耗 品	10,000	10,000	
役 務 費			
通信運搬費	25,000	25,000	
そ の 他	12,000	12,000	事務補助
会 議 費			
借 上 料	15,000	15,000	会場費 3 回
予 備 費	171,181	151,465	
	253,181	222,465	

そ の 他

1. 人事について

会長ほか数名の運営委員から推薦で事務局長の補佐として、公務を早期退職された、久保田委員を事務局次長に任命した（報告）。

2. HP の立ち上げについて

懸案であった本件について、菅委員のご好意により、破格の値段で（株）パル構造さんに依頼することできた。ただお願いが年度末であったため、時間を要するので、供用は未定（報告）

3. 「LivCom：質の高い環境・景観の保全創造によるまちづくり国際賞」への取り組みについて（報告）

（千葉大学（田代教授）および（財）公園緑地管理財団（事務局）からの再要請で、大村市に開催検討をお願いしたが（副市長・都市計画課技監）、本会の名でバックアップが可能だろうか。）